

2年生

1. 主題名 あい手の気持ちを考えて【親切・思いやり】

2. 教材名 こんなとき どうするの

様々な状況の場面絵から、どのような行動をするべきか考える教材。6種類の場面絵のうち、今回は「休み時間に独りぼっちでいる子」の場面について深く考え、相手の気持ちを考えて行動しようとする意欲を高められるよう、指導する。

3. ねらい

独りぼっちでいる子の気持ちを考え、その時どのような行動をするべきなのかを深く考える。相手の気持ちを考え、思いやりをもって人と接しようとする道徳的実践意欲を培う。

4. 授業の様子

場面絵を実際に演じた。楽しく話しているグループと独りぼっちの子。その様子を見て児童から活発に意見が出た。また、この場面以外にも「近所の小さい子が泣いています。」「弟（兄弟）もゲームをしたいようです。」などの場面についても、どのような行動が取れるのか考えた。



5. 授業後の感想（児童のノートより抜粋）

- 僕も一人でいた時に、友達から「大丈夫？」と声をかけてもらって嬉しかった。自分も困っている人がいたら「大丈夫？」と声をかけたい。
- 独りぼっちの役をやったら、想像していたよりも寂しかった。これから、そういう友達がいたら「一緒に遊ぼう。」と声をかけたい。
- 自分が独りぼっちの立場だったら寂しいな。と思いました。私はいろいろな人に「大丈夫？」と声をかけられるようになりたいです。
- 電車の中でお年寄りに席を譲ったことがあります。自分よりも大きい人でも小さい人でもみんなに親切にしたいです。

6. 今後の思いやりについての指導

ペアタイムも始まったこともあり、上学年としての自覚も出てきた。小さい子に優しくする、順番を譲る、など実践的な場面も増えてきたので、相手のことを思いやった行動ができた時は、声をかけていく。しかし、どうすればいいのか頭ではわかっている、行動に移すのは難しいこともある。小さい頃から、そのような立ち居振る舞いを「当たり前」のこととして身に付けられるよう、思いやりのある行動ができた時は認め、価値付けていく。